

登録支援機関登録番号：21登-006566



外国人材受入れのご案内
～特定技能制度において～

～繋ぐ～
JPN  IDN



📍 285-0815

千葉県佐倉市城806番地4

☎ 043-400-2958

🌐 <https://www.olapo-jpn.com/>

株式会社 OLAPO



企業理念

知識よりも思いやりを
Compassion rather than knowledge



人を大切に。自分を大切に。人格なき学識ではなく、人格ある良識を。



登録支援機関として



企業様、外国人実習生を繋ぐ架け橋として、円滑かつ柔軟なサポートを。



OLAPOの特徴



①圧倒的な提携先数

②圧倒的な職種数

③圧倒的な人材数



在留資格の申請も自社で行うため、
受入れから入社後までトータル的に
サポート致します。



主な提携先



名称	website
PATKESIND(インドネシア医療従事者助手協会)	www.patkesindo.org
PERSEMKI(インドネシア医療福祉職業高校協会)	www.persemki.org
LPK Sahara Indonesia(職業訓練機関)	www.lpkсахaraindonesia.com
LPK Saidai(職業訓練機関)	www.lpkaidaiacademy.com
LPK Bhakti Asih(職業訓練機関)	www.rsbhaktiasih.com
LPK Mandiri Nusantara(職業訓練機関)	www.lpkmandirinusantara.co.id
SMK Sekawan(スカワン専門学校)	-
SMK Gapura Merah Putih (ガプラ メラ プティ専門学校)	-



なぜインドネシアなのか



①インドネシア政府が積極的に協力してくれる

インドネシア政府は、2023年までに7万人の特定技能労働者を日本に送り出すことを目標としています。7万人の送り出しを達成させるため、日本語能力試験への基金なども行っています。

日本政府の受け入れの見込みが5年間で最大34万5千人なので、予定通り進むと特定技能の2割程度をインドネシア人が占めることになります。

②親日的かつ真面目な性格

インドネシア人は、親日的で真面目な国民性といわれています。また、日本の伝統やエンターテインメントがよく知られているため、日本語や日本の文化に興味がある方が多く見受けられ、平均年齢の低さも特徴的です。

ご配慮いただきたい点

インドネシア人は、8割以上がイスラム教徒で、1日5回のお祈りを欠かさずに行います。祈りのための礼拝場所や休憩時間等が必要となります。また、定期的にラマダンという絶食期間を設けることも特徴の一つで、ラマダンは1ヶ月間と長く、この時期は食事をせずに過ごします。しかし、出身地方や信念によって個人差がございます。また、イスラム教徒は豚肉を食べないため、「Halal (ハラル・ハラール)」の食材が主となります。この点も業務に支障のないようしっかりとサポートさせていただきます。



受入れまで



1-お申し込み

送り出し機関が募集条件によって応募者を募ります。一次選考により必要人数以上の応募者に絞り込みます。実習生受け入れ施設は、面接・実技試験等により、実習生を決定します。

3-雇用契約

外国人技能実習機構、入国管理局に入国に必要な書類を提出します。

5-実習生入国



人材の募集条件（人数、概算給与等の雇用条件）を提示してください。



2-応募・選考・決定

実習生受け入れ施設は、実習生との雇用契約を締結します。送り出し機関は、日本語教育等入国後必要な事前教育を行います。



4-申請

わたしたちが責任を持って実習生の入国時のサポートをします。

